

進路指導部では、各学部におけるキャリア教育の取り組みを紹介しています。

【小学部】～校外学習（只見線）～

キャリア発達課題として、情報活用能力（情報の収集や活用）が求められます。公共機関利用のルールやきまりを知り、守ることも大切な学習です。今回は、小学部6学年の校外学習（只見線学習列車利用）を紹介します。

事前学習では、いつ、何に乗って、どこへ行くのか、何をするのか、何を食べるのかなどの確認とともに、校外学習にあたって一番大切な約束を確認しました。①先生や友達と一緒に行動する ②乗り物に乗る時は静かにする ③バスや電車に乗る時に順番を守るなどです。

事前に学習したルールや約束を守り、体験活動にしっかりと取り組むことができました。



【中学部】～I期校内実習 PART 1

6月7日～11日の5日間、校内実習がありました。

今回は、校内実習で生徒たちが取り組んだ作業内容について紹介します。外注作業としては、「会津中央乳業株式会社のアイスシール貼り」「松本屋の羊羹の箱折り」「鰻のえびやの箸袋折り、袋入れ」などの仕事を提供していただき、分からないことは教師に質問をしてやり方を教えてもらったり、完成した時には報告をして、確実な作業を目指したりして一人一人努力することができました。自分の作業によって完成した物が各店に並ぶことを意識し、正確に責任をもって取り組みました。

(PART 2では、リサイクル封筒作り、新聞折り、部品の組み立て分解の実習について紹介します！)



【高等部】～第I期 産業現場等における実習～

6月7日～6月18日の10日間、産業現場等における実習、学校では校内実習がありました。

今回は、産業現場等における実習について紹介します。産業現場等における実習は、企業や事業所での体験を通して、生徒本人が自分自身を理解し、働くための知識・技能を身に付け、社会生活への適応能力を高めるなど、希望進路実現に向けた大切な学習です。

生徒たちは、コープや TSUTAYA、ダイユーエイトなどの一般企業や就労継続支援 B 型、生活介護事業所など、それぞれの場所で実習を行いました。

実習の振り返りや自己評価を行ったり、実習先のアドバイスや評価から課題を明確にしたりして、これからの生活の中でしっかり取り組んでいくことが重要になります。

